

長寿命化計画調査業務委託仕様書

1. 目的

公立大学法人 福井県立大学の安定した運営を継続するために、保有する基幹設備（ライフライン）の長寿命化計画作成に必要な基礎となる資料作成のために行う調査業務である。

さて、当大学は開学より現在25年を超え施設（建物、設備）の老朽化も顕著にみられるようになり、これまでも大規模修繕や改修工事・補修工事を行い施設の維持をしている。

しかし、普段目に触れる事のない設備を中心に耐用年数を大幅に超えて使用している電力受電設備・電気設備や給排水・ガス設備さらには通信・消防設備、非常用電源設備等の故障や事故発生が懸念される為、老朽化の状況把握をする必要がある。もう一方では、社会の少子化現象による学生の減少が確実に迫る現在、今後も健全な大学運営のため基幹設備（ライフライン）の長寿命化計画を作成し、今後必要となるライフサイクルコスト縮減を考えた大規模修繕、改修工事等の計画を作成する必要がある。

2. 調査内容

(1) 現状(現地)調査

各キャンパスおよびの各公舎棟別現状把握（品目、数量、購入年、製造年、製造業者、型式、施工業者等）

(2) 図面調査

県立大学の保管している設計図書による調査

3. 調査方法

(1) 調査票を作成し統一コード（No.）を作成し、現地調査を行う。

(2) 設計図書（図面）と突合する。

4. 提出する報告書等

(1) 提出する報告書5部を提出して監督職員の審査を受け、これに基づいて所定の訂正を行い、検査を受けて図書の原稿等の電子データを納品する。

(2) 電子データを電子媒体（CD-R）で1部提出する。要領等については、監督職員と協議の上決定する。

(3) 電子成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出する。

(4) 提出されたデータについては、当該施設に係る計画の委託業者に貸与し、当該業務における図面の作成、当該業務の完成図書の作成に使用することがある。

5. 貸与する図面および資料

- ・各種設計の資料
- ・基本設計図書
- ・既存設計図書・完成図書

上記貸与物品は、原図引渡しと共に返却する。

6. その他

(1) この仕様書に記載されていない事項については、監督職員と協議して定める。業務の処理については「福井県営繕工事監督事務処理要領」による。

(2) この仕様書に記載の基準ならびに資料等については最新版を使用するものとする。

(3) 建築士法による重要事項説明の手続きを行うこと。